

# よみがえれ富士山測候所

—国際極地高所科学研究ネットワーク構築を目指して—

## 趣旨

気象観測施設としての使命を終え、解体の危機にある富士山測候所の新たな利活用を考える国際ワークショップとシンポジウムを開催します。

ここでは、極地高所研究施設としての学術的活用案について、スイス・マルガリータヒュッテやハワイ・マウナロア山、中国・長白山での研究者を迎え、海外における先進的な研究概要を学ぶとともに、富士山測候所の科学技術振興や発展に関わる国内研究者同士との情報交換を行い、富士山測候所の新たな役割と使命を明らかにします。

## 会議 I（研究者向け・通訳無）

「富士山測候所を活用するための国際ワークショップ」

1. 日時 平成18年3月4日(土) 9:30~16:00
2. 場所 学士会館（東京都千代田区神田錦町3-28 電話 03-3292-5936）
3. 内容
  - ①経過報告と富士山測候所活用プロポーザルの発表  
江戸川大学教授 土器屋由紀子
  - ②プレゼンテーション  
浅野勝己(筑波大学名誉教授・高所医学)  
長崎成良(黒部市民病院・高所医学)  
増沢武弘(静岡大学教授・植物生態学)  
山本 智(東京大学大学院教授・宇宙物理学)  
岩坂泰信(金沢大学教授・大気化学)  
兼保直樹(産業技術総合研究所主任研究員・大気化学)  
三浦和彦(東京理科大学講師・大気化学)  
ほか
  - ③海外研究者の研究紹介  
(1)中国・長白山 金潤信 (大気化学)  
(2)ハワイ・マウナロア山 Russell C.Schnel (大気化学)  
(3)スイス・モンテローザ峰 Peter Bärtsch (高所医学)
  - ④フリーディスカッション  
国内外極地高所研究者同士の活用案の検討
  - ⑤まとめ  
「国際極地高所科学研究ネットワーク構築」へのアピール宣言草案の検討

## 会議Ⅱ（一般向け・通訳有）

### 「富士山測候所国際シンポジウム」

1. 日 時 平成18年3月5日(日) 10:00～16:00
2. 場 所 学士会館（東京都千代田区神田錦町3-28 電話 03-3292-5936）
3. 内 容 ①あいさつ

NPO 法人富士山測候所を活用する会 会長 中村 徹

- ②富士山測候所活用へのアピール

NPO 法人富士山測候所を活用する会 理事長 浅野勝己

- ③プレゼンテーション

(1)金潤信 (中国・長白山)

(2) Russell C Schnell (ハワイ・マウナロア山)

(3) Peter Bärtsch (スイス・モンテローザ峰)

- ④パネルディスカッション

パネリスト

岩坂泰信(金沢大学教授・大気化学)

増沢武弘(静岡大学教授・植物生態学)

増山 茂(医師・了徳寺大学教授・高所医学)

山本 智(東京大学大学院教授・宇宙物理学)

Russell C.Schnell (ハワイ・マウナロア山・大気化学)

Peter Bärtsch (スイス・モンテローザ峰・高所医学)

コーディネーター

渡辺豊博(NPO 法人富士山測候所を活用する会 理事)

- ⑤アピール宣言